

令和4年度 ボランティアコーディネーター研修実施要項

1 目的

国は「地域共生社会」の実現を掲げ、生活上の困難を抱える人々への包括的な支援を、地域相互の支え合いや、多様な担い手の参加・連携によって推進しようとしています。

これらの活動に関わる人たちの思いや関心を最大限に活かすためには、ボランティアコーディネーター等のボランティア業務担当者の役割が重要です。

本研修会では、多様な組織で働くボランティアコーディネーター等が、それぞれの立場からボランティア活動を推進していくために必要な視点や、求められる役割、課題解決に向けた手法について、講義・演習を通じて学びます。

2 対象者

県内市町村社会福祉協議会、行政、NPO 中間支援組織、病院、児童館、公民館、大学、社会福祉法人、NPO 等団体、地域包括支援センター、宮城県社会福祉協議会各施設及びその他関係機関等において、ボランティアコーディネーターや生活支援コーディネーター、ボランティア推進に係る業務を担当する職員。または、興味のある方。

3 実施回数 全3回（※連続した内容ではありません。第3回については後日お知らせいたします。）

4 開催日時

(第1回) 令和4年 7月12日(火) } 午前10時30分から午後3時30分まで
(第2回) 令和4年 8月2日(火) } (受付開始午前10時15分から)

5 開催形態・定員・会場

(第1回) 会場参加：30名 ※オンライン参加はありません。

会場：フォレスト仙台 第1・2会議室

(第2回) 会場参加：30名 オンライン参加：30名

会場：フォレスト仙台 第1・2会議室

※オンライン参加の場合、カメラ・マイク付きのパソコンが必須となります。また、1人の参加につきパソコン1台の用意が必須となります。

6 内容

(第1回) 7月12日(火)

「シニア世代の活躍にスポットを照らす～身近な場所における“ちょこっとお手伝い”を増やそう～」

10:30	開会 オリエンテーション
10:35	<講義・演習> 少子高齢化やコロナ禍によって地域を取り巻く環境が大きく変化する中、地域住民の地域における活躍が期待されています。今回は、シニア世代の地域における活躍に注目し、地域住民が抱える様々な課題解決等に繋がる為に、ボランティアコーディネーターとしてどのような視点が重要かについて学びます。 講師：ハンズオン！埼玉 西川 正 氏 <事例提供> シニア世代が地域で活躍している事例について学びます。

	事例提供者：公益財団法人 長野県長寿推進センター 総括コーディネーター 戸田 千登美 氏（オンライン参加）
15：30	閉会

(第2回) 8月2日(火)

「地域住民が動き出す原動力を探る～学生ボランティアのコーディネーションから学ぼう～」

10：30	開会 オリエンテーション
10：35	<p><講義・演習></p> <p>大学におけるボランティア活動では、活動が更に良くなるよう学生が自ら考え、実践されています。学生が主体的に活動できる為には、コーディネーターによる縁の下のサポートが一つのキーポイントとなっています。</p> <p>大学におけるボランティアコーディネーターの事例から、ボランティア活動への関心を高め、継続した活動へ繋げる為に大切にしたい視点を学びます。また、地域におけるコーディネートにおいて、それらの視点をどのように活かすことができるか理解を深めます。</p> <p>講師：中央大学 ボランティアセンターコーディネーター 開澤 裕美 氏</p>
15：30	閉会

※ プログラム・内容については一部変更する場合がございます。

※ 途中、1時間の昼食休憩を取ります。

7 参加費 無料

8 申し込み・その他

(1) 必要事項を記入の上、みやぎボランティア総合センターあてに Google フォームよりお申し込みください。各回の申込期日と申込 URL は下記のとおりです。

(第1回) 令和4年7月 1日(金) <https://forms.gle/cEZfokcmEamqMA3q7>



(第2回) 令和4年7月22日(金) <https://forms.gle/T4dXyVBtUzrHrk1N7>



(2) 申込は先着順です。定員が越えた場合は参加をお断りさせていただく場合がありますので、御了承ください。

(3) 昼食は、各自で御準備願います。

(4) 広報紙やホームページでの使用を目的に研修中の写真の撮影をさせていただく場合があります。

9 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

(1) 風邪症状や息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感)・発熱(37.5度以上あるいは平熱より1度以上高い)等の強い症状のいずれかがある場合がある方は参加をお控え下さい。判断に迷う場合には、会場へ直接お越しいただくのではなく、本会みやぎボランティア総合センター(電話 022-266-3951)までその旨を御一報くださいますようお願いいたします。

- (2) こまめに会場の換気を行いますので、衣服で温度調整ができるよう、御準備願います。
- (3) 感染等の様々な状況を鑑み、急遽、会議の持ち方等について変更・中止する場合がありますことを御了承下さい。

1 0 オンライン参加に関して

- (1) 研修資料を、参加申込書に記載いただいたメールアドレス宛に、事前にデータを送付しますので、研修当日は資料を御覧になりながら受講願います。資料のデータ送付と併せて、メールの送受信確認を行いますので、研修前日になってもメールが届かないようでしたら、お手数おかけいたしますが宮城県社会福祉協議会みやぎボランティア総合センター宛て、御連絡下さい。
- (2) 当日は、10時10分以降、ログインが可能となります。10時25分までに、ログインを完了し、会議開始までログイン状態のまま、待機して下さい。
⇒申し込みを以て、以上の注意事項について同意したとみなさせていただきます。

1 1 申し込み・問い合わせ先

宮城県社会福祉協議会 みやぎボランティア総合センター (担当：斎藤・武藤・生亀)

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館3階

TEL 022-266-3951 / FAX 022-266-3953

Email myvc@miyagi-sfk.net

1 2 会場略図

